

なかよし

天童中部小学校
いちよう学級だより
R4. 7. 15
No. 10

友達との関わりの中で できるようになる

いちよう1組で、七夕の学習を行いました。その学習の中で、七夕飾りを作っているときのこと。Aさんは、友達が輪飾りを作っているのを見て「わたしもやりたい。」と言って輪飾りづくりに参加しました。「どうやるの?」と聞くと、先に取り組んでいたBさんやCさんが作り方を教えてくれました。それを聞いたAさんが、実際に作ってみると、輪っかと輪っかが団子状につながった飾りができました。本人は「できた!」と言って自信満々に飾りを見せてくれました。

また別の日、飾りづくりを行いました。Aさんは真っ先に輪飾りを作ると言ってBさんと一緒に作り始めました。Bさんは輪飾りづくりが上手で、前の時間もとても長く飾りを作ることができていました。ですが週明けだったので、やり方を確認したかったのか、Aさんに輪の通し方を「こうやるんだよね。」と確認してから作り始めました。AさんもBさんのやっている様子を見て、「そうそう!」と反応し、その後は二人でおしゃべりを楽しみながら、一生懸命飾りづくりをしていました。その様子を見守っていると、Aさんの輪飾りが先週とは違い、きちんと輪の中に折り紙を通して糊付けされたものができていました。「Aさん、輪飾り上手に作れたね!」と言うと、「そうでしょ。できるようになったの!」とにっこり。“自分でできた”という達成感のある表情をしていました。

友達と自分を比べてみる、友達の姿をよく見る、友達のやっていることを真似してみるなど、友達との関わりの中でできることを増やせた姿を見ることができ、嬉しく思いました。



